三菱重工

セゾンエアコン
ビル空調システム

安全にお使いいただくために

もくじ

■ 安全上のご注意（セゾンエアコン・ビル空調システムの場合）…… 1
■ R32 冷媒を用いた空調システムの安全対策…… 3
■ フロン排出抑制法に基づく管理のお願い …… 4
■ 快適にお使いいただくために …… 4
■ 故障かな？ …… 5
■ 暖房準備について …… 7
■ 停電補償について …… 7
■ 据え付け・移設・点検整備について …… 7
■ 運転範囲 …… 7
■ パッケージエアコンの主な部品の保守・点検ガイドライン …… 9
■ 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について …… 13
（セゾンエアコンおよび冷房定格能力 16kW 以下のビル空調システムエアコンの場合）
■ 保証とアフターサービスについて …… 13

このたびは三菱重工パッケージエアコンをお買い上げいただき，まことにありがとうございました。

ご使用前に本書をよくお読みいただき，正しくご使用ください。お読みになったあとは保証書とともに大切に保管してください。
この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また海外においてはアフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other countries. No servicing is available outside of Japan.

PSB012A053
202607

安全上のご注意（セゾンエアコン・ビル空調システムの場合）

■ご使用の前に，この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
■ここに示した注意事項は，「⚠ 警告」，「⚠ 注意」に区分していますが，誤った取り扱いをしたときに，死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいものを特に「⚠ 警告」の欄にまとめて記載しています。しかし，「⚠ 注意」の欄に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので，必ず守ってください。
■絵表示の例


○記号は，禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。


●記号は，行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合はアースを行ってください）が描かれています。

■お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。移設・修理の場合、工事される方にお渡しください。また，お使いになる方が代わる場合は，必ず本書と「据付工事説明書」をお渡しください。
■電気配線工事は「第二種電気工事士」の資格のある方が行ってください。

据え付け上の注意事項

⚠ 警告

据え付けは，販売店または専門業者に依頼する。
ご自分で据え付け工事をされ不備があると，水漏れや感電，火災，エアコン落下によるケガの原因になります。

安全対策として安全装置（冷媒検知器および警報器，および安全遮断弁または機械換気装置）が必要な場合、室内機、室外機および安全装置の電源は保守・点検時を除き電源を遮断しないでください。電源遮断中は、室内機または室外機から冷媒が漏れた場合でも安全装置が作動せず、冷媒の漏れを検知できません。

小部屋へ据え付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。限界濃度を超えない対策については，販売店と相談して据え付けする。
万一，冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

空気清浄機，加湿器などの別売品は，必ず，当社指定の製品を使用する。また，取り付けは専門業者に依頼する。
ご自分で取り付けをされ，不備があると，水漏れや感電，火災などの原因になります。

冷凍サイクル内に指定冷媒以外を入れない。
漏れによる爆発や火災，冷媒サイクル内の異常高圧による破裂の原因になります。

⚠ 注意

アース（接地）を確実に行う。
アース線は，ガス管，水道管，避雷針，電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不確実な場合は，故障や漏電のときに感電や火災の原因になることがあります。

設置場所によっては漏電ブレーカーを取り付ける。
漏電ブレーカーが取り付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わない。
万一ガスが漏れてエアコンの周囲に溜まると，発火の原因になることがあります。

直射日光のあたる場所，または周囲温度が 40℃以上・0℃以下になる場所にリモコンを据付けない。
変形・変色・故障の原因になることがあります。

ドレン工事は，確実に排水するように配管する。
不確実な場合は，屋内に浸水し，家財などを濡らす原因になることがあります。

室外機が耐塩害仕様機種については機器の状態を定期的に点検する。必要に応じて再防錆処置や部品交換等を行う。
発錆での部品欠損によりユニット転倒などの事故の原因になることがあります。

使用上の注意事項

⚠ 警告

長時間冷風を身体に直接あてたり，冷やし過ぎない。
体調悪化・健康障害の原因になります。

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れない。
内部でファンが高速回転しており，ケガの原因になります。

洪水，台風など天災でエアコンが水没した時は，お買い上げの販売店に相談する。
運転をすると，故障や感電，火災などの原因になります。

異常時（こげ臭いなど）は，運転を停止して電源スイッチを切り，お買い上げの販売店に相談する。
異常のまま運転を続けると，故障や感電，火災などの原因になります。

エアコンが冷えない，暖まらない場合は冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられるので，お買い上げの販売店に相談する。
冷媒の追加を伴う修理の場合は，修理内容をサービスマンに確認する。
エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが，万一，冷媒が室内に漏れ，ファンヒーター，ストーブ，コンロなどの火気に触れると有害な生成物が発生する原因になります。

送風機が停止していても急に運転することがありますので，指や棒などを入れない。
また、冷媒検知警報器を接続したシステムにおいて、冷媒漏えい時にファンによるかくはん運転を行います。かくはんのために突然ファンが運転する場合がありますので、ファンには指や棒を入れないでください。
ケガの原因になります。

子供，病気の方など補助を必要とする人が使う場合は，周囲の人が十分注意する。
異常や人感センサー制御などにより空調機が停止した場合，体調不良や事故の原因になることがあります。

⚠ 注意

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途に使用しない。
保存物の品質低下などの原因になることがあります。

濡れた手で電気部品に触れたり，リモコンを操作しない。
感電・火災・故障の原因になることがあります。

燃焼器具と一緒に運転するときは，こまめに換気する。
換気が不十分な場合は，酸欠事故の原因になることがあります。

エアコンの風が直接あたる所に燃焼器具を置かない。
燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

長期使用で傷んだままの据付台などを使用しない。
傷んだ状態で放置するとエアコンの落下につながりケガの原因になることがあります。

エアコンを水洗いしたり，花瓶などの水の入った容器を載せたりしない。
感電や発火の原因になることがあります。

動植物に直接風があたる場所には設置しない。
動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。

掃除をする時は必ず運転を停止して，電源スイッチを切る。
内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になることがあります。

正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

可燃性スプレーなどをエアコンやリモコンの近くに置いたり直接吹きかけない。ベンジン・シンナーで製品をふかない。
ひび割れ・感電・発火の原因になることがあります。

お手入れをする時は必ず運転を停止し，電源スイッチを切る。
内部でファンが高速回転していますのでケガの原因になることがあります。

エアコンの下にほかの電気製品や家財などを置かない。
水滴が滴下する場合があり，汚損や故障の原因になることがあります。

エアコンのアルミフィンにさわらない。
ケガの原因になることがあります。

室内機内部の洗浄はお客様自身で行わず，必ずお買い上げの販売店またはメーカー指定のお客様相談窓口に相談する。
誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと，樹脂部分が破損したり水漏れなどの原因になることがあります。また，洗浄剤が電気品やモーターにかかると故障や発煙・発火の原因になることがあります。

室外機の上に乗ったり，物を載せたりしない。
落下・転倒などによりケガの原因になることがあります。

エアコンの操作やお手入れの時は不安定な台に乗らない。
転倒などケガの原因になることがあります。

雷が鳴り落雷のおそれがあるときは運転を停止し，スイッチを切る。
被雷すると，故障の原因になることがあります。

エアコンを数シーズン使用した場合は，通常のお手入れとは別に点検整備を行う。
室内機の内部にゴミやホコリがたまって，においが発生したり，除湿水の排水経路を詰まらせ室内機からの水漏れの原因になることがあります。点検整備には専門の知識と技術が必要です。お買い上げの販売店に依頼してください。

室外機の周辺に，物を置いたり，落ち葉がたまらないようにする。
落ち葉などがあると，虫などが侵入して，内部の電気部品に触れると，故障や発火・発煙の原因になることがあります。

吸込グリル・吹出グリルを外して使用しない。
ケガの原因になることがあります。

電源スイッチによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。また，停電補償が有効に設定されている場合，ファンが突然回り，ケガの原因になることがあります。

スイングルーバーが動いているときなどは吹出口に手を触れない。
ケガの原因になることがあります。

リモコンで遊ばない（遊ばせない）。
誤った操作による体調悪化や健康障害の原因になることがあります。

リモコンは絶対に分解しない。
リモコン内部を手でふれると感電や故障の原因になることがあります。内部の点検調整はお買い上げの販売店にご依頼ください。

リモコン線を引っ張ったり、ねじったりしない。
心線の一部が断線して漏電の原因になることがあります。

リモコンのボタンや画面を先のとがったもので押さない。
破損し、故障の原因になることがあります。

室内機及びリモコンの近くで湯沸器等の器具を使用しない。
蒸気を発生する器具を近くで使用しますと，冷房運転時水滴が落ちたり，漏電・短絡の原因になることがあります。

粉・繊維の浮遊する場所で使用しない。
エアフィルターで捕集できない小さな粉がエアコン内部に留まり，漏電・短絡の原因になることがあります。

エアコンの下部には，濡れて困るものは置かない。
湿度 80%以上の時や，ドレン排水が詰まった場合に，室内機から露が滴下し損害が生じる恐れがあります。

万一冷媒が漏れたときは，ストーブなどの火を消し，充分換気してください。

エアコンの使用期間（特に暖房期間）において，エアコンの停止時に電源スイッチを切らないでください。
圧縮機保護のヒーター通電が停止し，圧縮機故障の原因となります。

シーズン前，シーズン後の注意事項

⚠ 注意

アース線が外れていないか使用シーズン前後に確認する。
アースが不完全の場合，感電の原因になることがあります。

長期使用で据付台などが傷んでいないか注意する。
傷んだ状態で放置するとユニットの落下や転倒につながり，ケガの原因になることがあります。

清掃時の注意事項

⚠ 注意

掃除をするときは必ず運転を停止して，電源スイッチを切る。
内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になることがあります。

エアコン・リモコンを水・液体などで洗わない。
感電・火災・故障の原因になることがあります。

リモコンをベンジンやシンナー，化学雑巾等でふかない。
変色・故障の原因になることがあります。水でうすめた中性洗剤を布につけ、よく絞った状態でふき取り、乾いた布でふきあげてください。

室内機のエアフィルターを取り外す際は,不安定な台に乗って転倒したり，目に埃などがはいらないように注意する。
落下・転倒などによりケガの原因になることがあります。

移設・修理・廃棄時の注意事項

⚠ 警告

改修は絶対にしない。また，分解・修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電，火災などの原因になります。
エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが，万一，冷媒が室内に漏れ，ファンヒーター，ストーブ，コンロ等の火気に触れると，有毒ガスが発生する原因になります。
冷媒漏れの修理の場合は，漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。

エアコンを移動再設置・廃棄する場合は，販売店または専門業者に相談する。
据え付けに不備があると水漏れや感電，火災などの原因になります。
また、誤った廃棄により環境破壊の原因になることがあります。

室内機の修理・点検作業に際して「室内機電源ブレーカー」を必ず落とす。
点検・修理にあたって，室内機電源ブレーカーが ON のままだと，感電および室内機ファン回転による受傷の原因になります。

ラクリーナパネル使用上の注意事項

⚠ 注意

操作をするときは，吸込グリル動作範囲内に人がいないこと，物が無いことを確認のうえ行う。
吸込グリルがあたるとケガをしたり，物が破損する原因になることがあります。

吸込グリル動作中に吸込グリルやワイヤーなどに触れない。
吸込グリルがぶつかったり，ワイヤーが巻きついたりして，ケガの原因になることがあります。

ワイヤーは折り曲げたり，タバコなどの火を触れない。
ワイヤー断線により，吸込グリルやエアフィルターが落下し，ケガの原因になることがあります。

UV-C（深紫外線）LED 使用機器の注意事項

⚠ 注意

機器の清掃及び点検時は、取扱説明書と据付説明書をよく読み、必ず電源スイッチを切る。
UV 照射光は人体に有害です。当たるとケガの原因となることがあります。

運転中に本体内部をのぞき込まない。通常とは異なる使用方法での運転や、明らかに破損したエアコンの運転は行わない。
UV 照射光が漏れ、（少量であっても）目や皮膚に有害な影響を及ぼす恐れがあります。

R32 冷媒を用いた空調システムの安全対策

ビル空調システムとして使用する R32 冷媒は、微燃性に区分けされます。R32 冷媒が漏えいすると、外部着火源とともに着火する可能性がありますので、下記の注意事項を必ず守ってください

安全対策の要否判断

- 据付後に間取り、部屋面積、室内機や室外ユニット等の影響する条件を変更した場合、設置されたすべての室内機に対して安全対策の要否を再度判定する必要があります。安全対策の要否・判定については弊社の WEB サイトの技術資料公開サイトから入手し、工事を行う事業者に判定を依頼してください。ご不明点等あれば弊社または販売店にお問い合わせください。

冷媒漏えい発生時のお願い

警報音発生 または リモコンに漏えい検知異常が表示された場合は、下記を実施ください。

- 窓やドアを開け、換気をしてください。
- 建物の管理者もしくは点検保守担当者へ連絡してください。
- 冷媒検知警報機が警報を発報し，その連絡を受けた管理者は，点検保守業者に警報が発報したことを連絡し，冷媒漏えいの点検・修理を依頼してください。
- 点検保守業者は，携帯形漏えい検知器を携行した上で，速やかに現地に向かい点検・修理を行なってください。
- 修理作業を依頼する際は、冷媒として R32 を使用している機器であること、安全対策機器の位置、前回の回路検査の記録を連絡し、据付説明書を渡して据付説明書、安全対策マニュアルに記載されている作業上の注意事項を遵守するよう依頼してください。

安全対策マニュアルは
こちらから

https://www.mhi-mth.co.jp/manual/index.php?action=manualPreview&id=1411

回路検査について

回路検査は，既設の空調システムにおいて、冷媒の漏えいを想定した際に、検知器の信号によって警報装置が発報するとともに、安全遮断弁が作動することを確認するための検査です。

- 点検保守業者または、管理者は、1 年に 1 回以上、安全対策システムの回路検査を実施する必要があります。
- 安全対策システムの回路検査は、信号検査と、遮断弁チェック運転によって実施します。

信号検査とは、安全遮断弁に信号が正常に送信されることを確認し、遮断弁チェック運転とは、1 つの冷媒系統に設置されている全ての遮断弁に対する動作確認を自動的に実施するものです。

- 回路検査の実施は、据付説明書を渡して安全対策マニュアルの「保守点検」に従って作業を行いよう依頼してください。また、前回の回路検査を実施している場合は、メンテナンス記録表を工事業者様へお渡しください。

安全装置の保守点検の目安について

■一般的な使用条件下における定期点検の周期（点検周期）及び部品交換などの目安を示します。

部品名	点検周期	部品交換
冷媒検知警報機	1 年	5 年
安全遮断弁	1 年	5 年

- 交換方法は製品に付属の据付説明書をご確認ください。

■本製品を設置する工事業者様へ

「安全対策機器の回路検査および保守点検を実施後、室内機に付属の「メンテナンス記録表」に記録してください。」

フロン排出抑制法に基づく管理のお願い

本製品を管理（所有）されているお客様へ

本製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。
本製品を使用するにあたり，フロン類の漏えいを防止するため，フロン排出抑制法に基づき本製品の管理者（所有者，または使用等を管理する者）は，次のことを守る必要があります。

①機器を設置する時
適切な設置，適正な使用環境を確保すること。

②機器を使用している時
適切な設置，適正な使用環境を維持し，確保すること。
機器の簡易（日常）点検を実施すること。なお，当該機種の圧縮機定格出力が 7.5kW 以上の場合は定期点検も実施すること。
◇簡易点検：定期的な温度および目視による外観の点検です。（3ヶ月に 1 回以上）
異音・異常振動，外観の損傷，腐食，錆び，油のにじみ，霜つき等の漏えいの徴候を確認します。
◇定期点検：機器の専門点検の方法について十分な知見を有する有資格者が行う点検です。（3 年に 1 回以上）
定期点検の委託先および圧縮機の電動機出力については，お買い上げの販売店または弊社窓口へお問合せください。

③フロンの漏えいを発見した時
速やかに漏えい箇所を特定し，修理すること。
機器の修理をせずに充填することは原則禁止。

④点検や修理をした後
点検・整備記録簿に点検・修理・充填・回収に関する履歴を記録し，その記録簿を保存すること。

もし、機器の異常を発見した場合，専門的な点検･整備が必要なため，お買い上げの販売店または弊社窓口にご相談ください。
点検・整備記録簿には，機器を設置したときから廃棄するまでの機器の点検や修理，冷媒の充填・回収等のすべての履歴を記録・保存する必要があります。
冷媒の充填・回収には都道府県に登録された「第一種フロン類充填回収業者」への依頼が必要なため，お買い上げの販売店または弊社窓口へお問合せください。

本製品を設置する工事業者様へ

本製品の据付後，「（冷媒漏えい）点検・整備記録簿」を作成していただき，フロン排出抑制法に基づいて「（冷媒漏えい）点検･整備記録簿」を保管いただくようお客様にご説明ください。

詳細はお買い上げの販売店または弊社窓口へお問合せ，または下記サイトをご覧ください。
フロン排出抑制法の手引き：https://www.jraia.or.jp/index.html
冷媒漏えい　点検・整備記録簿（含む　簡易点検チェックシート）のエクセルシート：https://www.jarac.or.jp/freon

ご使用方法 リモコン取扱い方法は，各リモコンの取扱説明書を参照してください。

リモコンの取扱説明書は
こちらから

https://www.mhi-mth.co.jp/manual/index.php?action=manual&category=air_conditioner_for_office&document_type=operation#remote

快適にお使いいただくために

エアフィルターの掃除はこまめに

☞ 別冊紙（お手入れのしかた）を参照してください。

フィルター掃除表示（サイン）が表示したとき，冷房および暖房シーズンが終わったときには掃除をしてください。

エアフィルターが目詰まりすると…
- 冷・暖房効果が落ちます。また，電気のむだづかい，運転音も大きくなります。
- 故障の原因になります。
- 冷房時には水滴が落ちることがあります。

室内・室外機の吸込口や吹出口をふさがないで
エアコンに無理がかかって故障の原因になることがあります。

室内の温度は適温に
冷やしすぎ，暖めすぎは健康に良くありません。また，電気のむだづかいになります。

直射日光やすき間風を入れない
冷房のときは直射日光をブラインドやカーテンで遮りましょう。窓や出入口は換気のとき以外は閉めましょう。

風向調節をじょうずに
風を長時間直接肌にあてないでください。小動物や植物にも風が直接あたらないようにしてください。

暖房時に足もとが寒いときは
天井が高く足もとまで温風が循環しにくい場合はサーキュレーターのご使用をお勧めします。詳しくは販売店にご相談ください。

雷が鳴り，落雷のおそれがあるときは運転を止めて電源をOFFに
エアコンの故障の原因になることがあります。

人感センサーご使用の際の注意事項

- 検知エリアの隅では人を検知しにくくなります。
- 周囲と温度差のある物体が動く場所に据え付けた場合，「人がいる」と検知する場合があります。
- 人の動作で反応するため，在室時でも人の動作が小さい場合は不在と検知し，空調機が停止する場合があります。
- 設定温度の補正に伴い，肌寒く感じる場合があります。

結露防止制御について

湿度が高い環境で長時間運転すると，結露を防止するためにルーバーの位置が変わり，エアフレックスが閉じることがあります。
湿度が下がればルーバーとエアフレックスは通常通り運転します。

故障かな？

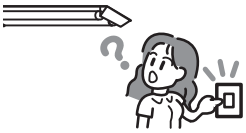
サービスをお申しつけになる前に次のことをお調べください。

まったく運転しない

電源スイッチが OFF になっていませんか。



停電またはヒューズ切れではありませんか。

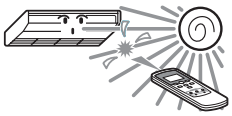


ラクリーナーパネルの吸込グリルが下がっていませんか。
グリル自動昇降モードになっていませんか。吸込グリルを収納させてから運転してください。

漏電しゃ断器が作動していませんか。

危険です。すぐ電源を切ってお買い上げの販売店にご連絡ください。

受信部に日光や強い照明光があたっていませんか。（ワイヤレス機）



冷えや暖まりが悪い

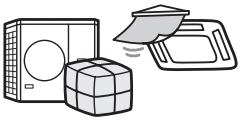
エアフィルターが目詰まりしていませんか。



スイングルーバーが水平ではありませんか。（暖房時）
スイングルーバーが水平ですと風が床面まで届きません。



風の吸込口や吹出口に障害物はありませんか。



冷えが悪い

- お部屋に直射日光があたっていませんか。
- お部屋の中に思わぬ熱源がありませんか。
- 室内の人数が多すぎませんか。

暖房時に風が出ない

暖房準備中ではありませんか。 ☞7 ページ



以上のことをお調べいただいても正常に運転しないとき，また次のようなときにはエアコンの運転を止めてお買い上げの販売店にご連絡ください。

• ヒューズやブレーカーがたびたび切れるとき。• 冷房・除湿運転中，水が漏れるとき。• 運転動作や運転音に異常があるとき。• 点検表示灯が点滅したとき。

これは故障ではありません。

水が流れるような音がする。	運転開始時，運転途中での圧縮機の発停時および運転停止時「シュルシュル」「ゴボゴボ」という音が出ることがありますが，これは冷媒の流れる音です。
停止中の室内機から「シュー」「ゴボゴボ」という音が出る。	エアコンが自動的に制御を行っている音です。
吹き出す風がにおう。	室内機から吹き出す風がにおうことがありますが，これはエアコンの内部に付いたタバコ，化粧品，家具などのにおいです。
運転中に室内機から白い霧が出る。	飲食店等で油類を多く使う場所でご使用になると，運転中に吹出口から白い霧が吹き出すことがあります。このようなときには販売店にご相談のうえ，熱交換器を洗浄してください。
冷房運転中に送風運転に切り換わった。	室内熱交換器の着霜防止のため，自動的に送風運転に切り換わることがありますが，まもなく冷房運転に戻ります。
暖房運転中に運転を停止しても室内送風機が止まらない。	補助ヒーターの余熱を取るため，停止後約 40 秒間室内送風機が回り続けることがあります。 お願い **電源を切るときは，送風機が停止してから切ってください。**
停止直後に再運転ができない	運転を停止してから 3 分間は運転／停止スイッチを押して「運転」にしても冷房・除湿・暖房運転はできません。これは圧縮機を保護する回路が働いているためです。（この間は送風運転となります）
除湿運転中風が出ない。また風量切換ができない。	除湿運転中は冷やしすぎと，湿度の上昇を防ぐため，送風機は自動的に風量弱，停止を繰り返します。
スイングルーバーが勝手に動く。	電源スイッチを入れた時，2 回オートスイングしますが，異常ではありません。また「暖房準備」が表示されているときは，自動的にスイングルーバーが水平になります。
暖房運転中に室外機から水や湯気が出る。	これは室外機に付いた霜を取る（除霜運転）ときに出るものです。
運転時に室外機の送風機が回っていない。	除霜運転や外気温が高いときの暖房運転では送風機を止める機能が働きます。また，冷房運転でも外気温が低くなると運転する送風機の数を自動的に制御する機能が働きます。 お願い **停止していても急に送風機が運転することがありますので，指や棒等を入れないでください。**
冷房運転時に冷風が数分間出ない。（冷暖フリーマルチの場合）	冷暖フリーマルチにおいて，数時間毎に自動的に圧縮機保護制御を行います。このとき室内機は送風を停止する場合がありますが，まもなく冷房運転に戻ります。
「ピシ，ピシ」という音がする。	温風により樹脂部品等が伸縮する際に発生する音です。
運転停止又は除霜運転時に「シュ」という音がする。	エアコン内部にある冷媒切換弁が作動する時に発生する音です。
ラクリーナパネルの吸込グリル下降 ・上昇動作中にカクン・カクン音がする。	ワイヤーが糸巻に巻かれる音です。
ラクリーナーパネルの吸込グリル収納時にゴト・ゴト音がする。	ワイヤーのたるみを取り除く動作中に出る音です。約 20 秒で終わります。
電源スイッチを入れただけで運転が開始した。	停電補償が有効に設定されている場合は，停電または，電源スイッチを切る前の状態で，復電後運転を開始します。☞7 ページ
設定温度が変わらない。（設定温度表示が点滅する）	リモコンにより設定温度切換操作が禁止されている場合，設定温度は変わりません。
運転切換ができない。（冷暖フリーマルチの場合）	冷暖フリーマルチにおいて，親子室内機設定がされている場合，子室内機は運転切換ができません。（親室内機の運転モードに従います。）
運転中に運転モードを変えたら風量が弱くなった。 （冷暖フリーマルチの場合）	運転中に運転モードを「冷房」→「暖房」または「暖房」→「冷房」に切り換えますと，3 分間風量弱となります。
リモコン操作をしても本体表示部の点検表示灯が点滅するだけで運転しない。 （ワイヤレス機）	別売のセンターコンソール等で制御している場合は，リモコンによる運転操作はできません。
リモコン操作をしても，リモコンの「集中管理中」が点滅するだけで運転しない。 （ワイヤード機）	「集中管理中」又は「センター」が表示されていませんか。 別売りのセンターコンソール等で制御している場合は，リモコンによる運転操作ができない場合があります。
暖房運転中に数分間送風が停止する。	室外機の熱交換器に付いた霜を除去する除霜制御，あるいは自動的に圧縮機保護制御を数時間毎に行います。このとき室内機の送風が停止しますが，まもなく暖房運転に戻ります。（除霜制御中はリモコンに「暖房除霜」と表示します。）
運転を停止しても室外機がすぐに止らない。	蒸発器の冷媒を回収するため 30 秒位エンジンが回ります。（ユニットの信頼性向上のためです）このため若干ガス消費量が増えます。
暖房停止しても室温が上る時がある。	停止ユニットへ冷媒が凝縮して溜り込むのを防止するため，他室が暖房中は，ホットガスを流す様にしています。 このため，ファンが停止しても自然放熱で若干暖房する事になり，室温が上る場合があります。
暖房停止しても室内送風機が止まらない。又は突然回り出す。	加湿器の残留水分を乾燥させるため 30 分ファンが回ります。 その後も機種によっては，積算 1 ～ 2 時間回る場合もあります。（加湿器取付時にお問合せください） このため、若干暖房する事になり、室温が上る場合があります。
UV-C の点灯を確認できない。	UV-C（深紫外）領域の照射光は可視光ではないため，肉眼で確認することはできません。
本体は青白く光っている。	室内が暗い場合に，UV 照射モジュールより発生する青白い光が確認できる場合があります。可視光領域の光りなので，人体等に影響を及ぼすことはありません。
リモコンからスイングルーバーの停止を指令をしても遅れてルーバが停止する。	店舗機において、親子室内機設定がされている場合、スイング中ルーバーを任意の位置で止める (ルーバーフリー停止制御) 際に親子間で通信を行うため、親室内機より子室内機が遅れてルーバーが止まる場合がありますが、異常ではありません。

暖房準備について

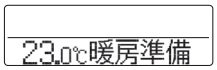
暖房準備中はリモコン表示部に次の表示がされます

• 暖房運転開始のとき

eco タッチリモコンの場合



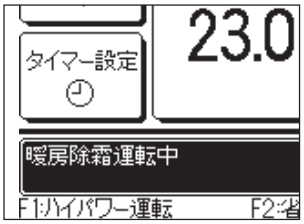
ワイヤードリモコンの場合



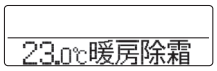
冷風の吹出防止のため暖房運転開始時の室内温度に応じて室内の送風が停止の状態になります。しばらくお待ちになれば自動的に通常の暖房運転に切り換わります。
ワイヤレスリモコンの場合は、運転 LED(緑) が連続点滅します。

• 暖房運転時の除霜運転中のとき

eco タッチリモコンの場合



ワイヤードリモコンの場合



室外機に霜が付きやすい条件になると自動的に約 1 時間に 5 ～ 10 分間暖房運転を停止（室内・外機とも送風停止）し，除霜運転を行います。除霜運転終了後は自動的に通常の暖房運転に切り換わります。

暖房運転について

• **ヒートポンプ式暖房**
冷媒の働きによって室外の空気中に含まれている熱をくみ上げて室内を暖房するしくみをヒートポンプ式暖房といいます。
• **除霜運転**
ヒートポンプ式エアコンで暖房する場合，室外の温度が下がってくると室外機の熱交換器に霜が付きそのままでは暖房効果が下がりますので，自動的に除霜運転に切り換えて霜を取ります。この間室内および室外機の送風を停止し「暖房除霜」を表示します。
• **外気温度と暖房能力**
ヒートポンプ式エアコンでは外気温度が下がるにつれて暖房能力は低下します。暖房能力が不足の場合は他の暖房機を併用してください。
• **室内温度が上がるまでの時間**
ヒートポンプ式エアコンはお部屋全体を暖める温風循環方式ですから室温が上がるまで多少時間がかかります。特に寒い朝などには早めに運転を開始してください。
• **暖房時に室温調節器が働いたとき**
室内の温度が上がり室温調節器が働いたときは自動的に弱風になります。室温が下がると自動的に通常の暖房運転に切り換わります。

停電補償について

お知らせ

リモコンには停電補償の機能がついており、停電補償を有効とすることができます。
(工場出荷時は無効に設定されています。)お買い上げの販売店にご相談ください。

■停電補償とは

・停電または電源スイッチを切った後、電源が復帰した際に、停電前のリモコン設定状態で自動的に運転を再開する機能です。停電前にエアコンが停止していた場合は、電源復旧後も停止となります。

・ただし下記内容については、停電補償有効／無効に関わらず、下記の通りとなります。

<ecoタッチリモコンの場合>

①時計・カレンダー設定は、停電が80時間以内は記憶しています。80時間を超えると初期設定に戻る場合があります。

②切忘れ防止タイマーは、電源復旧後、自動的に復帰します。

③時間入タイマー、時間切タイマー、時刻入タイマー、時刻切タイマーは、キャンセルされます。電源復旧後、時計・カレンダー設定を行ったあと、再設定が必要です。

④ウィークリータイマーは、時計・カレンダーが有効な状態で復帰した場合は、電源復旧後、自動的に復帰します。時計・カレンダーが初期設定となった場合は、ウィークリータイマーは無効となりますが、時計・カレンダーを再度設定すると、ウィークリータイマーは自動的に復帰します。

<ワイヤードリモコンの場合>

①時刻設定は初期設定に戻ります。

②時間タイマーは、電源復旧後、自動的に復帰します。

③時刻入タイマー、時刻切タイマーはキャンセルされます。電源復旧後、時刻合わせを行ったあと、再設定が必要です。

④ウィークリータイマーは、電源復旧後、全曜日休日設定で復帰します。元の状態に戻すには、電源復旧後、時刻合わせを行ったあと、「休日解除」を行ってください。

⑤ルーバー位置は、初期設定に戻ります。

お願い

停電補償を有効に設定してある場合は、必ず運転を停止してから電源スイッチを切ってください。(運転のまま電源スイッチを切ると、電源スイッチ入と同時に室内機のファンが回ります。また、電源スイッチ入の約3分後に室外機が運転します。)

据え付け・移設・点検整備について

エアコンを安全で快適にご使用いただくため次のことをご確認ください。
工事は販売店に依頼し，お客様ご自身ではなさらないでください。

据付場所

風通しの良い場所に据え付けられていますか？
障害物があると能力低下や運転音増大のもとになります。
冷・温風や運転音が近隣の迷惑になっていませんか？

電気工事

⚠ 注意 **アース工事を行ってください。**
アース線は，ガス管，水道管，避雷針，電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は，感電や火災の原因になることがあります。

⚠ 注意 **設置場所によっては漏電ブレーカーの取り付けが必要です。**
漏電ブレーカーが取り付けられていないと火災や感電の原因になることがあります。

電気工事・アース工事資格のある人が，電気設備技術基準にしたがって工事をしてください。

■エアコン専用の配線になっていますか？
■リモコンスイッチの取り付けは正しく行われていますか？
• 露出配線の場合，付属のネジで固定してありますか？
• リモコンコードの固定は付属のリモコンコードクランプを使用していますか？
• お子様の手の届かない高さに取り付けてありますか？

転居や移設のとき

⚠ 警告 **エアコンを移動再設置する場合は，販売店または専門業者にご相談ください。**
据え付けに不備があると水漏れや感電，火災などの原因になります。なお，取り外しや再据え付けには工事費がかかります。

点検整備について（セゾンエアコン・ビル空調システムの場合）

ご使用状況や周囲の環境によっても変わりますが，エアコンを3年程度ご使用になりますと内部が汚れ能力が低下することがありますので，通常のお手入れとは別に点検整備が必要です。お買い上げの販売店とご相談のうえ保守契約（有料）をされるようお勧めします。

運転範囲

お願い　次の運転範囲でお使いください。この範囲外で運転しますと，保護装置が働き運転できないことがあります。

区分＼条件	室内温度は…	室外温度は…	室内湿度は…
冷房運転 除湿運転	約 21 ～ 30℃ 約 21℃以下で長時間運転しますと機械に霜が付き，冷房・除湿運転ができないことがあります。	セゾンエアコン 約－15～50℃ ビル空調システム 約－15～43℃	約 80%以下 高い湿度で長時間運転するとエアコンの表面に露が付いて水滴が落ちたり，吹出口から煙のような霧が吹き出すことがあります。
暖房運転	セゾンエアコン ビル空調システム 約 27℃以下	セゾンエアコン 約－20～20℃ ビル空調システム 約－20～16℃ 外気温が低くなると暖房能力が低下し，暖まりにくくなります。	

(注) 機種によって運転範囲が異なる場合があります。カタログ等で，ご確認ください。

Memo

パッケージエアコンの主な部品の保守・点検ガイドライン

この表は、一般的な使用条件下における定期点検の内容とその周期（点検周期）及び部品交換などの目安を示しています。建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）施行規則等の法令・規定で定められている対象設備に該当する場合は、法規に従った保守点検も実施してください。予防保全については、定期点検の実施周期を<点検周期>として表し、定期点検の点検結果に基づき必要となるであろう「清掃・調整の実施」又は「部品交換・修理実施」の予測周期を<保全周期>として表しています。清掃・調整については、部品の劣化及び性能低下を防止する為に、また、点検後の部品交換・修理

【主として室内側の部品と組込部品】 ※室内側･室外側の区分は店舗用エアコン、ビル用マルチエアコンを想定しています。設備エアコンなどユニット

部品名			定期点検		
部品名			点検内容	点検方法	判定基準<目安>
構造部品	化粧パネル（意匠部）		・汚れ、傷のチェック	目視点検	・著しい汚れ、傷、変形がないこと
	吸込・吹出グリル		・目視による汚れ、傷のチェック ・吹き出しグリルルーバー動作確認	目視点検	・著しい傷、変形 がないこと
	フレーム・底板類		・錆、断熱材の剥がれチェック ・塗装被膜の剥がれ、浮きのチェック	目視点検	・著しい錆、断熱材の損傷 がないこと
	防振ゴム		・ゴムの劣化、硬化のチェック	目視・聴感点検	・防振機能に弊害がないこと
送風系統部品	フィルター		・目視による汚れ、破れチェック	目視点検	・ろ材が透けて見えること ・破れ、変形 がないこと
	ファン ファンケーシング		・振れ、バランスの目視チェック ・ゴミの付着、外観チェック	目視点検 目視点検	・著しい振れ状態でないこと ・著しい錆、変形の発生 がないこと
	ファンモーター		・音の聴感チェック ・絶縁抵抗の測定	聴感点検 500V メガ	・異常音の発生 がないこと ・1MΩ以上のこと
	ファンベルト		・摩耗、傷、緩みなどを定期点検	目視・聴覚点検 ベルトの張り点検	・著しい摩耗、異常音 がないこと ・ベルトたわみ量などメーカの判定基準による
	ベアリング		・定期的に給油が必要	聴覚点検	・異常な音の発生 がないこと
	オートルーバーモーター		・絶縁抵抗、異常音発生	500V メガ・聴感点検	・1MΩ以上のこと、異常音 がないこと
ドレン系統部品	ドレンパン		・ゴミ詰り、ドレン水の流れチェック ・塗装被膜の剥がれ、浮きのチェック	目視点検	・排水詰りがないこと ・異常な錆の発生、穴開き がないこと
	ドレンポンプ		・排水状態のチェック ・給排水口の詰まり汚れチェック ・絶縁抵抗	目視点検 目視点検 500V メガ	・正常に排水されていること ・詰まり汚れ がないこと ・1MΩ以上のこと
	結露防止ヒーター		・絶縁抵抗、外観チェック	500V メガ・目視点検	・1MΩ以上のこと、異常 がないこと
	フロートスイッチ		・動作確認	テスター	・ON−OFF 動作正常のこと
	UV-C LED		・目視による汚れ、傷のチェック ・導通確認	目視点検 テスター	・著しい傷、変形がないこと ・断線していないこと
冷媒系統部品	空気熱交換器		・ゴミによる目詰まり、損傷チェック ・ガスもれ	目視点検 ガス検知器	・目詰まり、損傷 がないこと ・漏れ検知 がないこと
	機内配管		・機内配管の共振、接触、腐食 ・キャピラリーチューブの共振、接触	目視点検 目視点検	・異常な共振、音、腐食 がないこと ・異常な共振、接触摩耗 がないこと
	電子式膨張弁		・動作チェック ・電源入切にて、動作音（圧力確認）	触感点検 聴感･触感点検	・冷媒循環を感じること ・駆動音と温度変化があること
	電磁弁、四方弁等		・電磁弁、四方弁等の動作、絶縁性能 ・腐食、異常音	500V メガ 目視・聴感点検	・1MΩ以上のこと ・異常な音、腐食 がないこと
電気･電子部品	電装BOX （インバーター含む）		・回路の絶縁抵抗チェック ・端子部、コネクター緩みチェック	500V メガ ドライバー・目視点検	・1MΩ以上のこと ・接続部分に緩み がないこと ・堆積異物がないこと ・異常表示しないこと
	スイッチング電源トランス		・出力電圧測定	テスター	・出力電圧が規定値以内であること
	温度センサー ヒューミディスタット		・オープン、ショート、地絡、外観チェック	テスター、目視点検	・規定の抵抗値であること 亀裂、変色なきこと
	リモコンスイッチ		・操作による、制御性チェック	目視点検	・操作通り液晶表示すること
付加機能部品	補助暖房用電気ヒーター		・発熱部、安全装置の損傷などの外観 ・絶縁抵抗チェック ・ほこりの付着	目視点検 500V メガ 目視点検	・損傷、変形の発生 がないこと ・1MΩ以上 ・ほこり付着がないこと
	高性能フィルター		・ゴミによる目詰まりチェック ・外観	目視点検	・短期に著しい詰まりがないこと ・変形、損傷がないこと
	電気集塵器		・絶縁抵抗チェック ・電離部、集塵部、絶縁部の汚れチェック ・異常音チェック	500V メガ 目視点検 聴感点検	・1MΩ以上 ・ゴミの推積、破損、変形 がないこと ・異常音 がないこと
	自然蒸発式加湿器	加湿エレメント	・親水化、水供給、スケールのチェック ・水槽類のゴミ、汚れ ・エレメントの汚れ	目視点検	・各社の判定基準のよる
		加湿器弁類	・絶縁抵抗チェック ・異常音チェック	500V メガ 聴感点検	・1MΩ以上 ・異常音 がないこと
		加湿器用ストレーナー	・ストレーナー詰りのチェック	目視点検	ゴミ詰りがないこと
	蒸気加湿器		・加湿状態、蒸気供給状態のチェック ・ノズルのチェック ・蒸発槽の汚れ（スケール等） ・蒸気圧力のチェック ・絶縁抵抗チェック	目視点検 500V メガ	・蒸気発生は規定通りのこと ・1MΩ以上
	超音波加湿器		・水槽のゴミ、汚れチェック ・振動子の汚れチェック ・加湿状態、水供給のチェック ・絶縁抵抗チェック ・ストレーナー詰りのチェック	目視点検 500V メガ	・蒸気発生量は規定通りのこと ・1MΩ以上

注1）偶発故障は、部品・機器の耐用年数期間内において、摩耗が進行する以前に起こる予期できない突発的な故障で、技術的な対策をたてることが難しく、現時点では、統計的な取扱に基づく施策しかとることができません。

注2）※印経過年数は頻繁な発停のない通常の使用状態で、10 時間／日、2,500 時間／年と仮定した場合です。運転状況により異なりますので保守契約時にご確認ください。

については、各部品の摩耗故障域に達する運転時間又は使用期間を予測し定めています。

記号の説明
- ●：点検結果により、清掃・調整の実施
- ▲：点検後異常時は、部品交換・修理実施
- ◇：定期交換を実施（消耗部品）

の構成により異なりますのでご注意ください。

予防保全 ※																	
保全内容	点検周期	保全周期（使用時間/期間）	経過年数 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	備　考
・中性洗剤による洗浄・補修塗装による塗装	1年毎 冷房シーズン前	8年		偶発故障						▲			摩耗故障					清掃対象品
・変形、損傷の場合は修正又は交換 ・動作異常時は軸受、モーターなど交換		8年		偶発故障						●			摩耗故障					
・断熱材剥がれの場合は補修・貼り付け ・補修塗料による塗装		8年		偶発故障						▲			摩耗故障					清掃対象品
・劣化、硬化時は交換		10年		偶発故障								▲	摩耗故障					
・汚れている時は清掃 ・破れている時は交換	1週間毎[注4]	5年		偶発故障			◇	偶発故障				◇	偶発故障				◇	消耗部品
・振れ、バランスが著しく悪い時は交換 ・ゴミ付着大の場合、ハケ清掃又は水洗浄	1年毎 冷房シーズン前	13年		偶発故障											●		摩耗故障	
・ベアリング音が大きい時はベアリング交換 ・1MΩ以下の時はモーター交換		20,000 Hr		偶発故障						▲			摩耗故障					
・定期的に部品交換		5,000 Hr		◇		◇		◇		◇		◇		◇		◇		消耗部品
・定期的に部品交換		15,000 Hr		偶発故障				◇	偶発故障					◇	偶発故障			消耗部品
・1MΩ以下の時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲			摩耗故障					
・ドレンパンの清掃、傾斜の確認 ・補修塗装、程度によってはドレンパン交換		8年		偶発故障						▲			摩耗故障					清掃対象品
・排水不良時は交換 ・詰まり汚れ時は清掃 ・1MΩ以下の時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲			摩耗故障					
・1MΩ以下の時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲			摩耗故障					
・動作不良の時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲			摩耗故障					
・変形、損傷の場合は交換 ・断線の場合は交換		25,000 Hr		偶発故障								◇	偶発故障					消耗部品
・目詰まり時は、空気流入側の洗浄 ・ガス漏れ検出時は、修理又は交換		5年		偶発故障			●	偶発故障			●	偶発故障		●	偶発故障	●	●	清掃対象品 雰囲気汚れによる
・腐食の著しい時は交換、配管の手直し ・摩耗の著しい時は交換、配管の手直し		20,000 Hr		偶発故障						▲			摩耗故障					
・ロック発生時は、交換		20,000 Hr		偶発故障						▲			摩耗故障					
・1MΩ以下の時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲			摩耗故障					
・ゴミ付着大の場合、ハケ清掃 ・1MΩ以下の時は交換 ・緩みがあれは増し締め、再差込		25,000 Hr		偶発故障								▲	摩耗故障					
・電圧異常があれば交換		10年		偶発故障								▲	摩耗故障					
・断線、ショートの場合は交換		5年		偶発故障			▲						摩耗故障					
・制御の追従性、表示不良の時は交換		25,000 Hr		偶発故障								▲	摩耗故障					
・損傷、変形がある場合は交換 ・1MΩ以下の時は交換 ・ほこり付着がある時は清掃	1年毎 暖房シーズン前	8年		偶発故障						▲			摩耗故障					
・目詰まりフィルターは交換 ・変形損傷がある場合は交換 ・定期的に交換	1年毎 冷房シーズン前	1年	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	消耗部品
・1MΩ以下の時は交換 ・洗浄、放電線切れ時は交換		8年		偶発故障						▲			摩耗故障					清掃対象品
・親水化による劣化が著しい時は交換 ・汚れているときは清掃	1年毎 暖房シーズン前	3年		偶発故障	◇		偶発故障	◇		偶発故障	◇		偶発故障	◇		偶発故障	◇	消耗部品
・1MΩ以下の時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲			摩耗故障					
・定期的に洗浄		10年		偶発故障								▲	摩耗故障					清掃対象品
・ノズル詰り発生時は詰り除去 ・スケール除去 ・1MΩ以下の時は交換		5年		偶発故障			●	偶発故障			●		偶発故障				●	清掃対象品
・汚れているときは清掃 ・1MΩ以下の時は交換		3年		偶発故障	●		偶発故障	●		偶発故障	●		偶発故障	●		偶発故障	●	清掃対象品

注4）フィルターの点検実施時期は基本的に1週間としていますが、フィルターの種類や使用環境でく傾向を表した図です。

注3）▬◣ は、摩耗故障の始まる時点を予測し、経過年数と共に、故障率があがってい汚れ具合は異なりますので、使用環境に応じて任意周期で点検を行ってください。

【主として**室外側**の部品】 ※室内側･室外側の区分は店舗用エアコン､ビル用マルチエアコンを想定しています。設備エアコンなどユニットの構成により

部品名			定期点検		
部品名			点検内容	点検方法	判定基準<目安>
構造部品	ガード類		・塗装被膜の剥がれ、浮きのチェック ・樹脂部品の割れ、ヒビのチェック	目視点検	・著しい錆の発生、ヒビ、割れなどがないこと
	フレーム・底板類		・錆、断熱材の剥がれチェック ・塗装被膜の剥がれ、浮きのチェック	目視点検	・著しい錆、断熱材の損傷がないこと
	防振ゴム		・ゴムの劣化、硬化のチェック	目視・聴感点検	・防振機能に弊害がないこと
送風系統部品	ファン ファンケーシング		・振れ、バランスの目視チェック ・ゴミの付着、外観チェック	目視点検 目視点検	・著しい振れ状態でないこと ・著しい錆、変形の発生がないこと
	ファンモーター		・音の聴感チェック ・絶縁抵抗の測定	聴感点検 500V メガ	・異常音の発生がないこと ・1MΩ以上のこと
	ベアリング		・定期的に給油が必要	聴覚点検	・異常な音の発生がないこと
冷媒系統部品	圧縮機		・起動、運転、停止時の音聴感、振動 ・絶縁抵抗の測定(各メーカーの指定時間通電後) ・端子の緩み、配線の接触	目視･聴感･触感点検 500V メガ ドライバー・目視点検	・異常な音、振動がないこと ・1MΩ以上のこと ・緩み、接触がないこと
	空気熱交換器		・ゴミによる目詰まり、損傷チェック ・ガスもれ	目視点検 ガス検知器	・目詰まり、損傷がないこと ・漏れ検知がないこと
	機内配管		・機内配管の共振、接触、腐食 ・キャピラリーチューブの共振、接触	目視点検 目視点検	・異常な共振、音、腐食がないこと ・異常な共振、接触摩耗がないこと
	電子式膨張弁		・動作チェック ・電源入切にて、動作音（圧力確認）	触感点検 聴感･触感点検	・冷媒循環を感じること ・駆動音と温度変化があること
	電磁弁、四方弁等		・電磁弁、四方弁等の動作、絶縁性能 ・腐食、異常音	500V メガ 目視・聴感点検	・1MΩ以上のこと ・異常な音、腐食がないこと
	容器関係		・アキュームレーター､オイルセパレーター等の腐食	目視点検	・異常な腐食がないこと
	保護装置 (保安部品)	圧力遮断装置	・動作圧力、ガス漏れ、絶縁抵抗	圧力計ほか	・設定値で作動のこと ・法規上の規定事項を遵守すること
		可溶栓	・外観チェック (可溶合金の膨らみ)	目視点検	・可溶合金が正常位置のこと
電気･電子部品	クランクケースヒーター		・導通チェック ・絶縁抵抗の測定 ・外観チェック	テスター 500V メガ 目視点検	・導通があること ・1MΩ以上のこと ・異常がないこと
	凍結防止ヒーター		・導通チェック ・絶縁抵抗、外観チェック	テスター 500V メガ・目視点検	・導通があること ・1MΩ以上のこと、異常がないこと
	電装BOX(インバーター含む)		・回路の絶縁抵抗チェック ・端子部、コネクター緩みチェック	500V メガ ドライバー・目視点検	・1MΩ以上のこと ・接続部分に緩みがないこと
		電解コンデンサー	・コンデンサー（電解）外観チェック	目視点検	・液もれ、変形がないこと
		平滑コンデンサー	・静電容量、絶縁抵抗の測定 ・外観チェック	静電計、500V メガ テスター	・規定容量以上のこと ・1MΩ以上のこと
		端子台	・端子部ネジ緩み、汚れ堆積	ドライバー・目視点検	・緩みなきこと ・堆積異物がないこと
		電装部品 （基板類も含む）	・HIC 基板の短絡チェック ・基板類へのゴミ付着の目視チェック ・自己点検モード、外観チェック	テスター 目視点検 目視点検	・規定の抵抗値であること ・堆積異物がないこと ・異常表示しないこと
	圧力センサー、温度センサー		・オープン、ショート、地絡、外観チェック	テスター、目視点検	・規定の抵抗値であること ・亀裂、変色なきこと
	開閉器類 (FFB､ELB含む)	電磁開閉器 過電流継電器 補助リレー類	・動作、外観チェック ・接点の荒れ	目視点検 目視点検	・変形なきこと ・設定通り作動、変形なきこと ・変形、変色なきこと
	スイッチング電源トランス		・出力電圧測定	テスター	・出力電圧が規定値以内であること
	冷却ファン		・絶縁抵抗、異常音発生	500V メガ・聴感点検	・1MΩ以上のこと、異常音なきこと
	ヒューズ		・外観チェック	目視点検	・変形、変色なきこと

注1）偶発故障は、部品・機器の耐用年数期間内において、摩耗が進行する以前に起こる予期できない突発的な故障で、技術的な対策をたてることが難しく、現時点では、統計的な取扱に基づく施策しかとることができません。

注2）※印経過年数は頻繁な発停のない通常の使用状態で、10 時間／日、2,500 時間／年と仮定した場合です。運転状況により異なりますので保守契約時にご確認ください。

注3） は、摩耗故障の始まる時点を予測し、経過年数と共に、故障率があがっていく傾向を表した図です。

記号の説明
- ●：点検結果により、清掃・調整の実施
- ▲：点検後異常時は、部品交換・修理実施
- ◇：定期交換を実施（消耗部品）

異なりますのでご注意ください。

予防保全 ※																	
保全内容	点検周期	保全周期（使用時間/期間）	経過年数														備　考
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
・補修塗料による塗装 ・ヒビ、割れなど損傷ある場合は交換。	1年毎 冷房 シーズン前	8年		偶発故障						▲							摩耗故障	清掃対象品
・断熱材剥がれの場合は補修・貼り付け ・補修塗料による塗装		8年		偶発故障						▲							摩耗故障	清掃対象品
・劣化、硬化時は交換		10年		偶発故障								▲					摩耗故障	
・振れ、バランスが著しく悪い時は交換 ・ゴミ付着大の場合、ハケ清掃又は水洗浄		10年		偶発故障								●					摩耗故障	
・ベアリング音が大きい時はベアリング交換 ・1MΩ以下の時はモーター交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・定期的に部品交換		15,000 Hr		偶発故障			◇		偶発故障					◇		偶発故障		消耗部品
・異常な場合は、交換 ・1MΩ以下の時は交換 ・増し締め。配線経路の修正		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・目詰まり時は、空気流入側の洗浄 ・ガス漏れ検出時は、修理又は交換		5年		偶発故障			●		偶発故障		●	偶発故障		●	偶発故障	●	●	清掃対象品 雰囲気汚れによる
・腐食の著しい時は交換、配管の手直し ・摩耗の著しい時は交換、配管の手直し		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・ロック発生時は、交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・1MΩ以下の時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・腐食発生の場合、補修塗装		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・設置値許容範囲で作動しない場合は交換		25,000 Hr		偶発故障								▲		偶発故障				
・可溶合金が正常位置より膨らんでいる場合は交換		15,000 Hr		偶発故障			▲		偶発故障					▲		偶発故障		
・導通がない場合は交換 ・1MΩ以下の時は交換		8年		偶発故障						◇		偶発故障						消耗部品
・導通がない場合は交換 ・1MΩ以下の時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・ゴミ付着大の場合、ハケ清掃 ・1MΩ以下の時は交換 ・緩みがあれは増し締め、再差込 ・外観チェックと液洩れなどがあれば交換		25,000 Hr		偶発故障								▲					摩耗故障	
・定期的に部品交換 ・1MΩ以下の時は交換		10年		偶発故障								◇		偶発故障				消耗部品
・緩みあれば増し締め。 ・堆積異物付着の場合はハケ清掃		25,000 Hr		偶発故障								▲					摩耗故障	
・規定の抵抗値以外であれば交換 ・堆積異物付着の場合はハケ清掃 ・部品交換または修正		25,000 Hr		偶発故障								▲					摩耗故障	
・断線、ショートの場合は交換		5年		偶発故障			▲										摩耗故障	
・動作不良又は変形、変色の時は交換		25,000 Hr		偶発故障								▲					摩耗故障	
・電圧異常があれば交換		10年		偶発故障								▲					摩耗故障	
・1MΩ以下の時は交換 ・ファンロック時は交換		20,000 Hr		偶発故障						▲							摩耗故障	
・遮断時交換		10年		偶発故障								◇		偶発故障				消耗部品

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について（セゾンエアコンおよび冷房定格能力16kW以下のビル空調システムエアコンの場合）

本機（パッケージエアコン）は業務用です。ご家庭以外の用途でご使用になる場合は，保守・点検ガイドライン（P9～12）に従い，経年劣化による危害の発生を防止してください。

本体への表示内容

ご家庭での使用において，経年劣化による危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために，電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体の銘板近傍に行っています。

- 製造年：本体の装置銘板の中に西暦4桁で表示してあります。
- 設計上の標準使用期間：本体の装置銘板の近傍に下記の表示を行います。

【設計上の標準使用期間】10年

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、
経年劣化による火災･けが等の事故に至るおそれがあります。

●本機（パッケージエアコン）は業務用です。
「設計上の標準使用期間」等は家庭用としてご使用された場合を想定して表示しております。

設計上の標準使用期間とは

- 「設計上の標準使用期間」等は家庭用としてご使用された場合を想定して表示しております。
- ご家庭での使用を前提とし，運転時間や温湿度など，右表の標準使用条件に基づく経年劣化に対して，製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は，無償保証期間とは異なります。また，一般的な故障を保証するものではありません。
- 「点検周期」と「保全周期」の一覧に基づいて適切な保全行為を行った場合はこの限りではありません。

標準使用条件　日本冷凍空調工業会自主基準による

環境条件	電源電圧	定格表示電圧による
	周波数	定格表示周波数による
	冷房室内温度	27℃（乾球温度）
	冷房室内湿度	47%（湿球温度 19℃）
	冷房室外温度	35℃（乾球温度）
	冷房室外湿度	40%（湿球温度 24℃）
	暖房室内温度	20℃（乾球温度）
	暖房室内湿度	59%（湿球温度 15℃）
	暖房室外温度	7℃（乾球温度）
	暖房室外湿度	87%（湿球温度 6℃）
	設置条件	機器の据付説明書による標準設置
負荷条件	住宅	木造平屋，南向き和室，居間
	部屋の広さ	機器能力に見合った広さの部屋（畳数）
想定時間	1年当たりの使用日数	東京モデル 冷房 6月2日から9月21日までの112日間 暖房 10月28日から4月14日までの169日間
	1日当たりの使用時間	冷房：9時間／日 暖房：7時間／日
	1年間の使用時間	冷房：1,008時間／年 暖房：1,183時間／年

（注）上記の条件と著しく異なる場合，または，本来の使用目的以外でご使用された場合は，設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による火災・けが等の事故に至るおそれがあります。

保証とアフターサービスについて

保証について（保証期間は，納入日から起算して1年間です。）

この製品には保証書が付いています。

- 保証書はお買い上げの販売店で所定事項を記入しお渡ししますので，記載内容をご確認の上，大切に保管してください。
- 保証期間中，万一故障した時は，お買い上げの販売店または指定のサービス店にご連絡ください。保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。（保証期間経過後の修理は有償になります。）保証期間中でも有償になる場合がありますので，保証書をよくお読みください。
- 良好な状態で長く安心してご使用いただくために，お客様の行う日常点検（フィルター清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。標準的な保守点検の，「点検周期」および定期点検に伴う「保全周期」［主要部品の交換・修理実施周期］は，**表-1を目安にされると便利です。（表-1，表-2は，保守・点検ガイドライン（P9～12）からの抜粋を含みます。）**
  また，代表的「消耗部品」の例を**表-3，表-4**に示します。**（表-3，表-4は，保守・点検ガイドライン（P9～12）からの抜粋を含みます。）**
  なお，保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので，契約時によくお確かめください。

機器予防保全の目安

「保全周期」は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。
下記は，以下のご使用条件の場合です。

①頻繁な発停のない，通常のご使用状態であること。
②製品の運転時間は，10時間 / 日，2,500時間 / 年と仮定しています。

また，下記の項目に適合する時には，「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

①温度・湿度の高い場所あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
②電源（電圧，周波数，波形歪み等）や負荷変動が大きい場所でご使用される場合。
③振動，衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。
④塵埃，塩分，亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。

表-1.「点検周期」及び「保全周期」一覧表（セゾンエアコン・ビル空調システムの場合）

主要部品名	点検周期	保全周期［交換又は修理］	主要部品名	点検周期	保全周期［交換又は修理］
圧縮機	1年	20,000時間	バルブ（電磁弁，四方弁など）	1年	20,000時間
モーター（ファン，ルーバ，ドレンポンプ用など）		20,000時間	センサー（サーミスター，圧力センサーなど）		5年
電装部品（基板類も含む）		25,000時間	ドレンパン		8年
膨張弁		20,000時間			

表-2.「点検周期」及び「保全周期」の一覧表（ガスヒートポンプエアコンの場合）

主要部品名	点検周期	保全周期［交換又は修理］	主要部品名	点検周期	保全周期［交換又は修理］
圧縮機	1年	30,000時間	膨張弁	1年	30,000時間
室外側モーター（ファンなど）		30,000時間	バルブ（電磁弁，四方弁など）		30,000時間
室内側モーター（ファン，ルーバ，ドレンポンプ用など）		20,000時間	センサー（サーミスター，圧力センサーなど）		5年
ベアリング		15,000時間	ドレンパン		8年
電子基板類		25,000時間			

注（1）本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。この「保全周期」は，製品を長く安心してご使用いただくために，保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので，適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
注（2）ドレンポンプ保全周期（交換）は，冷房時使用を想定しております。暖房時も使用の場合は，15,000時間が目安となります。

- 定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生する事があります。この場合，保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

補修用性能部品の保有期間について

このエアコンの補修用性能部品の保有期間は，製造打ち切り後９年間となっています。補修用性能部品とは，その製品の機能を維持するために必要な部品です。

消耗部品の交換周期目安

交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。

表-3. 消耗部品の「交換周期」一覧表（セゾンエアコン・ビル空調システムの場合）

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1週間※	5年	ヒューズ	1年	10年
高性能フィルター	1年※	1年	加湿器エレメント		3年
ファンベルト	1年	5,000時間	クランクケースヒーター		8年
ベアリング		15,000時間	平滑コンデンサー		10年
UV-C LED	1年	25,000H			

表-4. 消耗部品の「交換周期」一覧表（ガスヒートポンプエアコンの場合）

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1週間※	5年	ヒューズ	1年	5年
高性能フィルター	1年※	1年	加湿器エレメント		3年
ファンベルト	1年	5,000時間	クランクケースヒータ		5年
ベアリング		15,000時間	平滑コンデンサ		30,000時間

※フィルターの点検実施時期は，フィルターの種類や使用環境で汚れ具合は異なりますので，使用環境に応じて任意周期で点検を行ってください。

アフターサービスご契約のおすすめ

当社指定のサービス会社と保守契約(有料)いただければ,専門のサービスマンがお客様に代わって保守・点検を致します。万一の故障の時も早期に発見し適切な処置を行う事ができます。

移設および廃棄・整備について

- 転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので，お買い上げの販売店または弊社窓口にご相談ください。
- エアコンを廃棄・整備される場合は冷媒の回収などが必要ですので，お買い上げの販売店または弊社窓口にご相談ください。
- この製品はフロン排出抑制法の第１種特定製品です。
  （1） 冷媒のみだりな大気放出禁止。
  （2） 廃棄整備する場合、冷媒回収が必要。
  （3） 冷媒未回収の機器の引渡禁止
  出荷時のフロン類の種類数量・地球温暖化係数は本銘板に記載されています。なお設置時の冷媒追加量は本機に貼られた冷媒量記入銘板に記入ください。

切り取り線

[アンケート] 下記の1～5につき、該当する項目に○印をご記入ください。

1．お客様の業種（複数回答）

1	建築・設備業	7	金融・保険業	13	学校・病院・診療所
2	製造業一般	8	不動産業	14	旅館・ホテル
3	百貨店・スーパー等大形店舗	9	運送・倉庫業	15	官公庁・公団
4	中小小売店舗	10	電力・ガス熱供給業	16	家庭・住宅
5	卸売・商社	11	理容・美容業	17	リース業
6	飲食店(含むレストラン・バー)	12	娯楽・遊戯場	18	その他

2．購入の決定にあたって（複数回答）

1	自分でもよく検討したうえ、決定した
2	自分でも検討はしたが、販売店のすすめに従った
3	販売店にまかせた
4	知人・友人からの推薦
5	会社の指定
6	設計事務所または建築会社の推薦

（1．2の時のみ）→3．購入理由（3つまで）

1	省エネ
2	省スペース
3	デザイン
4	価格
5	低騒音
6	操作性
7	メーカ
8	アフターサービス
9	その他（　　）

4．購入形態

1	新規
2	買替
3	買増

→(2の時のみ)　（複数回答）
5．1 旧製品を買替した理由 ⟶

1	改築にあわせて
2	古くて故障したため
3	古くはないが､故障したため
4	古くなったため
5	音が大きくなったため
6	省エネタイプでないため
7	有効スペースを得るため
8	その他(　　)

（複数回答）
5．2 旧製品メーカー→

1	三菱重工
2	三菱電機
3	ダイキン
4	日立
5	日本キャリア
6	パナソニック
7	その他

5．3 旧製品の使用年数

1	5年未満	5	8年
2	5年	6	9年
3	6年	7	10年
4	7年	8	11年以上

（複数回答）

[自由記入欄]　お気づきの点等ございましたらご記入ください。

誠に有難うございました。今後とも三菱重工製品をご愛用賜りますようお願い申し上げます。

サービスをお申しつけになるときは次のことをお買い上げの販売店にご連絡ください

- エアコンのタイプ：
- エアコンの形式名：
- ご　購　入　日：
- 異 常 の 内 容：できるだけ詳しく。エラーコード，メッセージ等表示されている場合は表示内容についても連絡願います。
- ご　　住　　所：
- ご　　氏　　名：
- 電　話　番　号：
- 訪問ご希望日時：

■お客様メモ

ご購入店名：

電話番号：

担 当 者：

ご購入日：　　年　　月　　日

お客様ご相談窓口

アフターサービスはお買い上げ店にご依頼ください。なお，転居その他の理由でお買い上げ店にアフターサービスを依頼することができない場合は，下記のお客様相談センターにご相談ください。（電話番号は予告なく変更することがありますのでご了承ください。）

三菱重工冷熱株式会社

サービスフロントセンター（修理受付，部品，技術相談）　0120-975-365

三菱重工

三菱重工サーマルシステムズ株式会社　〒100-8332 東京都千代田区丸の内三丁目2番3号
三菱重工冷熱株式会社　〒108-0023 東京都港区芝浦 2-11-5

切り取り線

郵 便 は が き

誠に恐れ入りますが、切手を貼ってご投函ください。

4 5 2-8 5 6 1

愛知県清須市西枇杷島町
旭三丁目１番地

三菱重工サーマルシステムズ株式会社

業務用空調機
ご愛用者アンケート係　行

この度は、当社の業務用空調機をお買い上げ頂きまして誠に有難うございました。
今後の参考にお客様のご意見をお聞かせ願いたく誠にお手数ですが以下の項目にご記入のうえ、切手を貼ってご投函ください。ご返送頂きましたお客様には、粗品を送付させて戴きます。

ご 住 所	〒□□□-□□□□　(Tel)　－　－ 都・道 府・県		
社名・店名			
部 課 名 ご 氏 名			
ご購入の販 売 店		室内機形式	
据付年月		室外機形式	

メーカー記入欄 □□□□□□-□□□

お客様ご相談窓口・ご愛用者アンケート係におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱重工サーマルシステムズ株式会社および三菱重工冷熱株式会社（以下「当社」）は，お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を，下記のとおり，お取り扱いします。

1．当社は，お客様の個人情報を当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき，これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。なお，修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合，法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合，その他正当な理由がある場合を除き，当社以外の第三者に個人情報を開示･提供いたしません。
2．当社は，お客様の個人情報を，適切に管理します。
3．お客様の個人情報に関するお問い合わせは，ご相談いただきましたお客様ご相談窓口にご連絡ください。

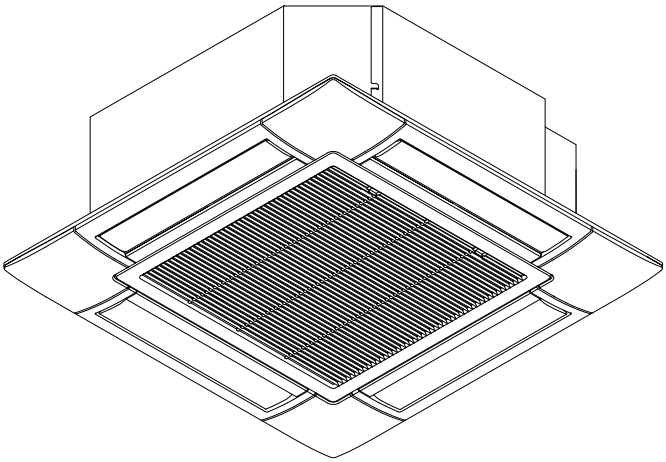
三菱重工

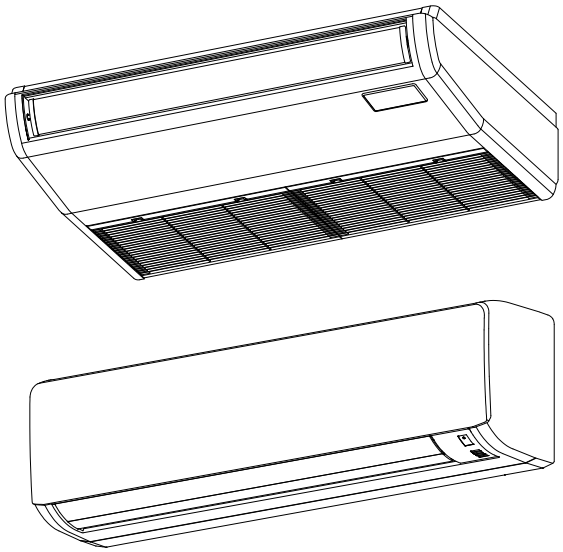
お手入れのしかた

取扱説明書

もくじ

■ エアフィルターの掃除 …… 1
■ 空気清浄フィルターの取付方法 — FDK のみ …… 5
■ 抗菌剤の補充方法 — FDT のみ …… 6





このたびは三菱重工パッケージエアコンをお買い上げいただき，まことにありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき，正しくご使用ください。お読みになったあとは保証書とともに大切に保管してください。
この室内ユニットは、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また海外においてはアフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other countries. No servicing is available outside of Japan.

PSB012A035
202503

エアフィルターの掃除

経済的な冷暖房を行うためにエアフィルターの掃除は定期的に行ってください。圧縮機の故障原因になることがあります。

⚠ 注意　**掃除をする時は必ず運転を停止して，電源スイッチを切る。**
内部でファンが高速回転しており，ケガの原因になることがあります。

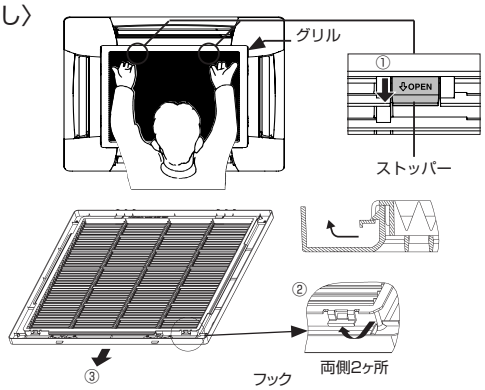
⚠ 注意　**エアフィルターの取付・取外しに脚立等を使用する場合は，しっかり固定する。**
落下・転倒などにより，ケガの原因になることがあります。

⚠ 注意　**エアフィルターを取外すときには目にホコリが入らないように注意する。**

⚠ 注意　**エアフィルターを取外した状態で運転しない。**
内部にゴミが詰まり，故障の原因になります。

■天井埋込形 — FDT

〈取外し〉

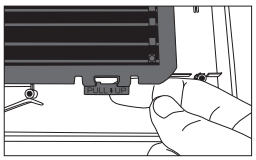


〈グリルの取外し方法〉

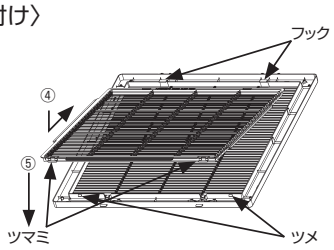
1. グリルのストッパー（2ヶ所）に指をかけて「OPEN」の方向（矢印①）に押したままグリルを下方へ引くとグリルが開きます。グリルのヒンジを外すと，グリルを取外すことができます。

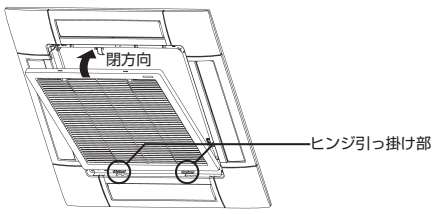
〈フィルターの取外し方法〉

1. ツマミ部（②）を外側に開きながら上に持ち上げると，ツマミ部がグリルのツメから外れます。ツマミの横から指を入れるとツメから外れやすいです。
2. フィルターをスライドさせて（③），グリルから取外します。



〈取付け〉





〈フィルターの取付け方法〉

1. フィルターの表裏，方向を合わせ，フックに引っ掛けてください。
（矢印④のようにはめ込む）
2. フィルターをグリル側にカチッと音がするまで押し下げ(⑤)，ツマミをツメに引っ掛けてください。

〈グリルの取付け方法〉

1. グリルのヒンジをパネル本体ヒンジ挿入穴に取付けてください。(グリルのヒンジは 4 方向どこでも取付け可能です)
2. グリルのストッパー（2ヶ所）を「OPEN」の方向へ押したまま，閉じてください。その後，ストッパーから手を離してください。

⚠ 注意　**フィルターは確実にグリルに取付けてください。**
確実に取付けないとすきまより風が漏れ，性能低下の原因となります。

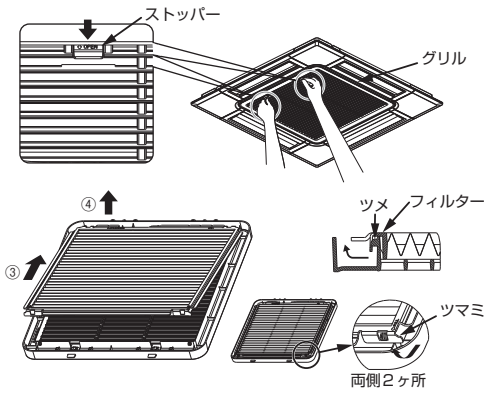
⚠ 注意　**グリルは確実に取付けてください。**
取付けが不完全ですと落下する恐れがあります。

⚠ 注意　**ストッパーが変形・破損した場合は速やかに修理依頼し，交換してください。**
グリルが落下する恐れがあります。

エアフィルターの掃除

■天井埋込形コンパクト — FDTC

〈取外し〉

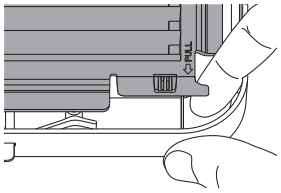


〈グリルの取外し方法〉

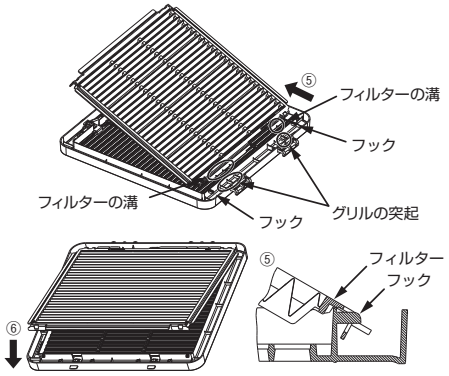
1. グリルのストッパー（2ヶ所）に指をかけて矢印①の方向に押したままグリルを下方へ引くとグリルが開きます。グリルのヒンジを外すと，グリルを取外すことができます。

〈フィルターの取外し方法〉

1. ツマミ部（②）を「PULL」の方向に開きながら、上に持ち上げると、ツマミ部がグリルのツメから外れます。ツマミの横から指を入れるとツメから外れやすいです。
2. フィルターをスライドさせ（③）、フィルターがグリルに引っかかっていないことを確認後、上に引き上げて（④）、グリルから外します。

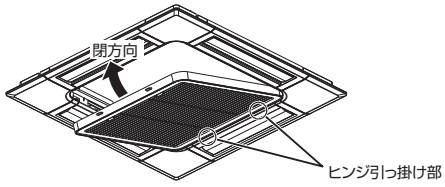


〈取付け〉



〈フィルターの取付け方法〉

1. フィルターの表裏、方向を合わせ、フィルターの溝をグリルの突起に合わせてください。
2. フィルターがフックに引っかかる位置までスライドさせてください。（⑤）
3. フィルターをグリル側にカチッとするまで押し下げ（⑥）、ツマミをツメに引っ掛けてください。



〈グリルの取付け方法〉

1. グリルのヒンジをパネル本体のヒンジ挿入穴に取付けてください。(グリルのヒンジは 4 方向どこでも取付け可能です)
2. グリルのストッパー（2ヶ所）を押したまま, 閉じてください。その後, ストッパーから手を離してください。
   ストッパーがパネルに確実に差し込まれているか確認してください。

⚠ 注意　**フィルターは確実にグリルに取付けてください。**
確実に取付けないとすきまより風が漏れ，性能低下の原因となります。

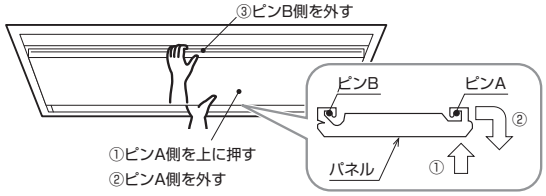
⚠ 注意　**グリルは確実に取付けてください。**
取付けが不完全ですと落下する恐れがあります。

⚠ 注意　**ストッパーが変形・破損した場合は速やかに修理依頼し, 交換してください。**
グリルが落下する恐れがあります。

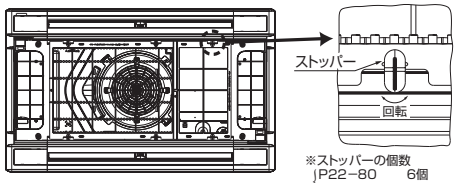
エアフィルターの掃除

■ 2 方向吹出し天井埋込形 — FDTW

1. 吸込パネルの片側（ピン A 側）を上に押し上げてください。
2. ピン A からパネルを外してください。
3. ピン B 側を外し，パネルを取外してください。



4. エアフィルターを押さえ，ストッパーを回転させてエアフィルターを取外してください。



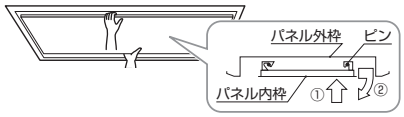
※ストッパーの個数
P22−80　6個
P90−160　10個

ご注意
エアフィルターの取付には順番があります。
詳細はパネル据付説明書をご参照ください。

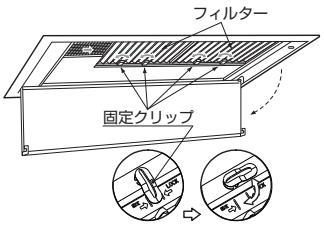
※フィルター取り外し順序
P22−80　フィルター(中)→フィルター(小)
P90−160　フィルター(大)→フィルター(中)→フィルター(小)

■天埋カセテリア形 — FDR

1. 吸込パネルを上に押し上げてください。
2. そのまま外側に引くと吸込パネルがピンより外れますので下に開いてください。



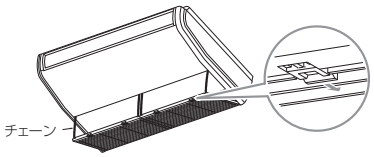
3. フィルターの取外し，取付けは，ねじを緩め固定金具をスライドして行ってください。



フィルターには，取付け・　取外しに順番があります。詳しくはパネルの注意銘板をご覧ください。

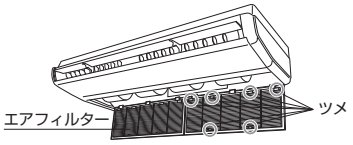
■天吊形 — FDE40 ～ 160

1. 吸込グリルのレバーを後方（➡の方向）にスライドさせ下に開いてください。



収納時はレバーを前方へ「カチッ」と音がするまで押して止めてください。

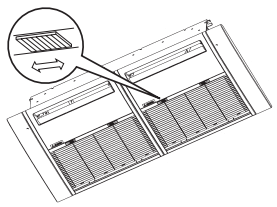
2. 吸込グリルを押えながらフィルターを押してツメから外し，下に引抜いてください。



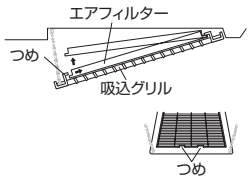
装着時は，フィルターを吸込グリルのツメにはめ込んでください。

■ 1 方向吹出し天井埋込形 — FDTS

1. 吸込グリルのレバーを矢印（ ➡） の方向にスライドさせ，下に開いてください。



2. エアフィルターを少し上に押し上げながら吸込グリルの左右のつめから外し，引き抜いてください。

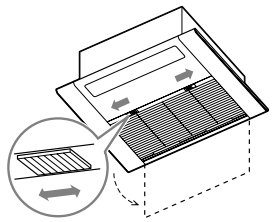


■高静圧ダクト形 — FDU
■中静圧ダクト形 — FDUM
■給気処理，外気処理形 — FDU-F

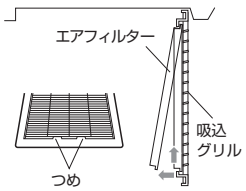
エアフィルターはエアコン設置時に取付けられますので，お買い上げの販売店から取外し方，掃除方法の説明をお受けください。

■ 1 方向吹出し天井埋込形 — FDTSC

1. 吸込グリルのレバーを矢印（➡）の方向にスライドさせ，下に開いてください。



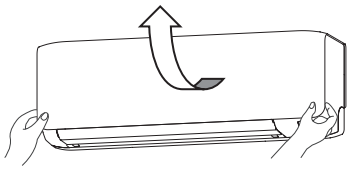
2. エアフィルターを，少し上に押し上げながら，吸込グリルの左右のつめから外し，引き抜いてください。



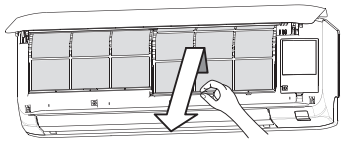
エアフィルターの掃除

■壁掛形 — FDK

1. 吸込パネルを手前に引き上げてください。
   左右側面の凹部に手をかけ手前に引き上げますと約60～70° 開いた状態で静止します。



2. エアフィルターの取っ手を軽くつまんで上に少し上げ，手前に取り出してください。



掃除のしかた

1. 水で洗い流して掃除をします。汚れが少ないときは，軽くはたくか，クリーナーでも掃除ができます。
   汚れがひどいときは，ぬるま湯（30℃位）に中性洗剤を溶かし，ゆすぎ洗いしたあと，水で洗剤をよく洗い落としてください。
   FDES（耐油形）の場合は市販の油汚れ用液体洗剤（「銅やアルミには使用不可」と表示されている洗剤はさけてください）で汚れを落とし，水で洗剤をよく洗い落としてください。
2. エアフィルターを乾かしてから本体あるいはグリルに取り付けてください。
3. リモコンからフィルターサインリセットをしてください。
   （フィルターサインリセットの方法は，リモコン付属の取扱説明書を参照ください）
   ラクリーナーパネルの場合，グリル昇降の操作で自動でフィルターサインはリセットされます。

お 願 い

- 直射日光にあてたり，火であぶって乾かさないでください。フィルターが損傷します。
- エアフィルターを外したままで運転しないでください。エアコンの故障の原因になります。
- 熱湯で洗わないでください。エアフィルターが損傷します。
- 強く引っ張らないでください。エアフィルターが損傷します。

本体のお手入れ

- 柔らかい布でからぶきして掃除してください。汚れのひどいときは，ぬるま湯に溶かした中性洗剤でふき取ったあと，清水で洗剤をふき取ってください。

シーズンの終わり

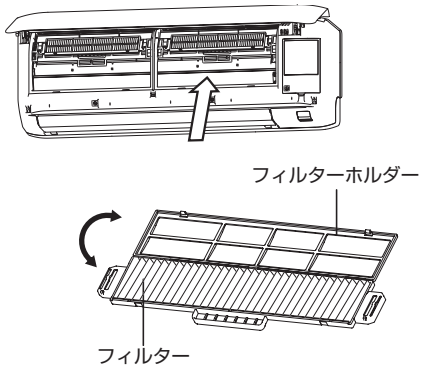
- エアフィルターの掃除をして取り付けておいてください。
- 室内および室外機の掃除をして汚れを落としてください。

シーズンの初め

- 室内・室外機の吸込口や吹出口のまわりに風の障害になる物がないか確認してください。
- エアフィルターの点検をしてください。汚れていたら掃除をして取り付けてください。

空気清浄フィルターの取付方法 — FDK のみ

⚠ 注意　**空気清浄フィルターの取付・取外しをするときは必ず運転を停止して，電源スイッチを切ってください。**
内部でファンが高速回転しており，ケガの原因になることがあります。
⚠ 注意　**空気清浄フィルターの取付・取外しをするときに脚立等を使用する場合は，しっかり固定してください。**
落下・転倒などにより，ケガの原因になることがあります。



1 P4 の壁掛形 — FDK の項目を参考に、吸込パネルを開け、エアフィルターを取外します。
2 付属品に同梱されている水洗いサンファルター（オレンジ）と酵素強力除菌フィルター（グリーン）をフィルターホルダーに取付けます。
空気清浄フィルター交換時はユニット本体からフィルターホルダーを取外し、新しい空気清浄フィルターと取替えてください。
※酵素強力除菌フィルターはプリーツ（ひだ形状）が手前側になるように取付けてください。水洗いサンフィルターはどちらをおもてにしていただいても結構です。
3 空気清浄フィルターを取付けたフィルターホルダーをエアコン本体に取付けてください。
※水洗いサンフィルター、酵素強力除菌フィルターは左右どちらへ装着いただいても結構です。
4 エアフィルターを取付け、吸込パネルを閉じます。

水洗いサンフィルター（オレンジ）

水洗いサンフィルターは太陽光を当てると、脱臭効果が再生します。定期的にホコリを取り除いて天日干ししてください。
- 汚れがひどい場合は中性洗剤洗いも可能ですが、破損しやすいためフィルターホルダーごと洗ってください。**汚れを落した後は、必ず太陽光に当てて乾燥させてください。**
- 破損したとき、長期間の使用で汚れがひどく落ちにくいときは交換してください。

酵素強力除菌フィルター（グリーン）

酵素強力除菌フィルターの有効期間は約 1 年ですが、ご使用状況により異なります。汚れ具合をときどき点検してください。
- 汚れていたら掃除機で汚れを取り除いてください。
- 汚れが取れない場合や、1 年を経過した場合は、交換してください。

■交換用空気清浄フィルター

名　　称	水洗いサンフィルター	酵素強力除菌フィルター
効　　果	お部屋に充満するニオイを脱臭して爽やかな空気を保ちます。水で洗い天日干しするだけで脱臭能力が再生します。	カビや細菌の成長を抑え、また気になるタバコのにおいなどを吸着します。
色	オレンジ	グリーン
交換のめやす	破損、汚れがひどいとき	約 1 年
型　　番	LCF41	CFY11
梱　包　数	1 枚	1 枚
価　　格	1,200 円（税別）	800 円（税別）

上記フィルターの名称、品番、価格は予告なく変更になることがありますのでご了承ください。

交換用の空気清浄フィルターはお買い上げの販売店またはビーバー部品・消耗品オンラインショップでご購入ください。
オンラインショップホームページ　https://ssl.mhiair.co.jp/shop

抗菌剤の補充方法 — FDTのみ

室内ユニット内に抗菌剤が取付けられています。抗菌剤を定期的に補充して頂くことで，スライムの発生を抑え，凝縮水排水用ポンプの故障を防止します。

⚠ 注意　**抗菌剤を補充するときは必ず運転を停止して，電源スイッチを切ってください。**
内部でファンが高速回転しており，ケガの原因になることがあります。

⚠ 注意　**抗菌剤を補充するときに脚立等を使用する場合は，しっかり固定してください。**
落下・転倒などにより，ケガの原因になることがあります。

⚠ 注意　**抗菌剤を補充するときに工具 (ドライバー) を使用します。脚立等を使用する場合は，工具が落下しないようご注意ください。**
工具の落下により，ケガの原因になることがあります。

⚠ 注意　**抗菌剤に触れた場合は流水で洗ってください。**
無機系ガラス微粒子の抗菌剤を使用しています。安全性に優れているため，触っても問題ありませんが，
触った場合は念のため，手を洗ってください。

⚠ 注意　**抗菌剤用蓋を取外した状態で運転しないでください。**
内部のファンや熱交換器を触れるため，危険です。また，風漏れにより適正な性能が発揮できません。
必ず抗菌剤用蓋を取付けて運転してください。

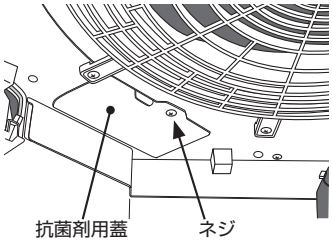
⚠ 注意　**お買い上げ頂いた際に付属されている抗菌剤の寿命は冷房１シーズン分です。**
引き続き，抗菌効果を持続させたい場合はオプションの抗菌バッグをお買い求めください。
オプションの抗菌バック (品番 HA07187) は冷房３シーズンの寿命があります。
(オプションの名称 , 品番は予告なく変更することがあります)

〈抗菌剤ケースの取外し〉

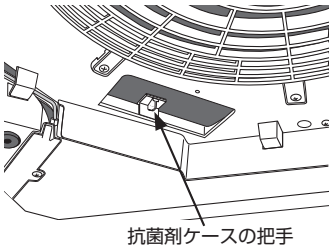
P 1の天井埋込形 — FDT の項目を参考に，グリルを取外してください。

〈抗菌剤ケースの取外し方法〉

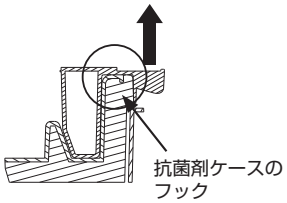
1. 抗菌剤用蓋のねじ (1 個) を取外してください。
（＋ドライバーが必要です。）



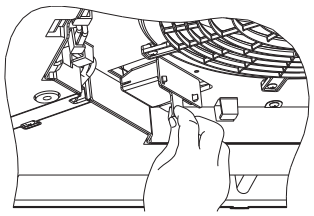
2. 抗菌剤用蓋を取外してください。
抗菌剤ケースの把手が見えます。



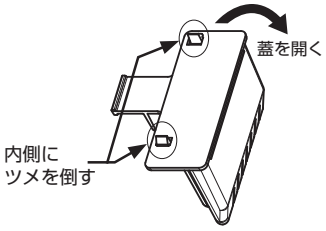
3. 抗菌剤ケースの把手を持ち上げてください。
抗菌剤ケースのフックが室内ユニットから外れます。



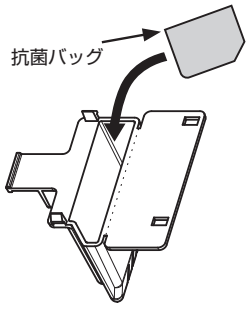
4. 取出し口から抗菌剤ケースを取出してください。



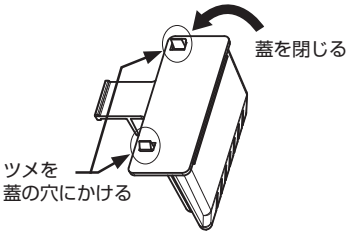
〈抗菌剤の補充方法〉



5. 抗菌剤ケースの蓋を開けてください。
ツメ (2 ヶ所) を内側に倒すと蓋が開きます。



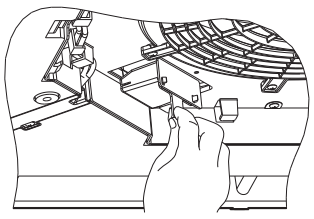
6. 抗菌剤を抗菌剤ケースの中に入れてください。
オプションの抗菌バッグは，バッグのままお使い頂けます。
付属の抗菌剤が残っている場合は，残したまま補充する抗菌バッグを入れてください。
バッグのみが残っている場合は，バッグを取出してください。



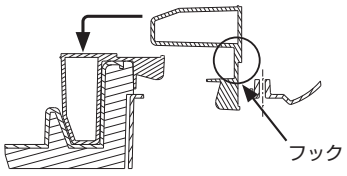
7. 抗菌剤ケースの蓋を閉じてください。
ツメが蓋の穴にひっかり，開かないことを確認してください。

8. 手を洗ってください。
無機系ガラス微粒子の抗菌剤のため，無害で安全ですが，念のため手を洗ってください。

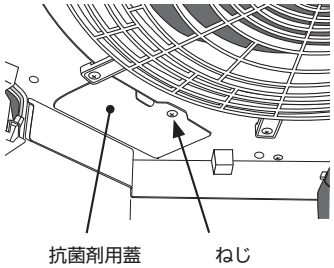
〈抗菌剤ケースの取付け方法〉



9. 抗菌剤ケースの把手を持って，取出し口から室内ユニットの中に入れてください。



10. 抗菌剤ケースのフックを室内ユニットに引掛けてください。
フックが室内ユニットに引っ掛かり，浮いていないことを確認してください。
フックが引っ掛かっていないと，十分な抗菌効果が得られなかったり，抗菌剤ケースが室内ユニット内で動いてしまい，異常音の発生や部品破損の原因になることがあります。



11. 抗菌剤用蓋を室内ユニットに取付け，ねじ（1 個）で固定してください。
ねじで固定しない場合，風漏れにより異常音や能力低下の原因になります。

P1 の天井埋込形 — FDT の項目を参考に，グリルを取付けてください。

三菱重工

三菱重工サーマルシステムズ株式会社　〒100-8332 東京都千代田区丸の内三丁目2番3号
三菱重工冷熱株式会社　〒108-0023 東京都港区芝浦 2-11-5